

病理学的検査における細胞診断と組織診断との比較、検討

1. 研究の対象

2014年4月～2023年3月に当院で細胞診と病理組織生検の検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

目的:

口腔がんや、がんになりやすい病気を簡単に検査することができる細胞診という検査が、全国的に普及しています。お口の表面をブラシで擦るだけでよいため痛みが少なく、また、大きな病院だけではなく、地域の歯科医院や介護施設などいろいろな場所で簡単に検査をすることができます。ただ、口の中の表面部分しか確認できないため、病理組織生検という確定診断の検査に比べて、がんを見つけることができる確率がやや低くなります。当院でもこの細胞診検査を積極的に導入していますが、どのくらい正確にがんを診断できているかを調べるために今回の研究を行います。

方法:

過去に細胞診の検査が行われた後、生検による病理組織生検により診断が出された方を対象とします。お口の中の表面部分に何らかの病気が出ている方に限ります。

日本臨床細胞学会口腔細胞診ワーキンググループ(2013)の細胞診断ガイドラインに従い、細胞診と病理組織生検の診断結果が合っているかを調べます。必要により免疫染色して、より正確に診断をします。その結果から、細胞診検査の感度、特異度、陽性的中率、陰性的中率、正診率などを計算し、細胞診の検査がどれだけお口の中のがんや、がんになりやすい病気を見つけられるかどうかを、他の施設の結果と比べます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病理細胞診と病理組織生検の診断結果、性別、生年月日、臨床診断名

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1 番 8 号 大阪大学歯学部附属病院検査部

電話番号 06-6879-2271

研究責任者: 国立大学法人大阪大学歯学部附属病院検査部 大家香織